

Dr. Yoon-Hee Cho is a professor of the Department of Health, Behavior, and Society at the Johns Hopkins University. She is also a senior advisor at the Center for Communications Programs. Her research interests include maternal and child health, reproductive health, and adolescent reproductive health. She has been involved in several large-scale international research projects and has published numerous articles in the field of public health.

私たちは認知症やひきこもりの方、障がいのある方など、生活に困っている人とその家族を支援する NPO です。ご寄付がいただけたら、事務所をパネルなどで仕切ってスペースを作り、パソコンなどを設置してひきこもり状態にある人にとって安心できる居場所を作りたいと思います。どうかよろしくお願いします。

Dr. Yoko Kikuchi is a Japanese-born, U.S.-trained physician and a board-certified pediatric endocrinologist. She is currently an Assistant Professor of Pediatrics at the University of California, San Francisco, where she has been working for over 15 years. Dr. Kikuchi is also a member of the American Society of Human Genetics and the American Society of Human Endocrinology.

アレルギーケア・くじは食物アレルギーの啓蒙活動をする団体です。これまでの活動の中でアレルギーを身近に捉えている方は、まだ多くないと感じています。今年、ご寄付がいただけたら、チラシを作成したり、広報くじなどを使って、アレルギーの問題を伝える広報をしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

Dr. Yoko Kato is a Japanese researcher who has been studying the effects of music on the brain for over 20 years. She is currently a professor at the University of Tokyo and has published numerous papers on the topic. Dr. Kato is also a member of the Japanese Society for Music and Brain Research.

私たちは、食と健康を通じて、誰もが交流できる居場所を作りたいと思って活動しています。今年もまた、親子で大豆を育て、収穫し、郷土料理を作って、郷土愛を育みたいと思います。今年は子供たちの販売体験も行います。ご寄付は謝金、種苗代、試食会の経費などに使います。よろしくお願いします！

OLD NEW は喫茶店「ユベントス」の空き店舗を活用して新たな事業を始めた、若者3人のグループです。昨年のご寄付で「ユベントス」をリノベーションすることができました。今年、ご寄付がいただけたら、イベント開催の費用に充てて、このスペースを安価で提供します。どうかよろしくお願いします。

Dr. Yoonhee Park is an Associate Professor at the Department of Health, Behavior, and Society, Johns Hopkins University. She is also a senior research advisor at the Center for Communications Programs, Johns Hopkins University. Her research interests include adolescent reproductive health, maternal and child health, and adolescent pregnancy. She has been involved in several large-scale research projects, including the Adolescent Pregnancy Prevention Program in South Africa and the Adolescent Pregnancy Prevention Program in India. She has published numerous articles in peer-reviewed journals and has been a frequent speaker at international conferences. She is currently leading a research project on adolescent pregnancy prevention in South Africa.

私たちは、地域の方々が安心して暮らせるよう、保健、医療、福祉の分野で活動しています。運営している縁カフェとりんは、交流スペースが手狭になってきました。そこで施設内で場所を移動し、広くしたいと思います。ご寄付は場所移動の経費や机、椅子の購入に充てます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ボルダリング

募集期間

2023 年 4 月 29 日(土) ~ 2023 年 8 月 20 日(日)

Dr. Yoko Kikuchi is a Japanese-born, U.S.-trained physician and a board-certified pediatric endocrinologist. She is currently an Assistant Professor of Pediatrics at the University of Michigan, where she has been working for 15 years. Dr. Kikuchi is also a member of the American Society of Human Genetics and the American Society of Human Endocrinology.

私たちは、「村内での開催」と「参加者の自発性」を軸に、たのしいを自ら生み出す力を育てるようなイベントの企画運営をしています。今年は日形井にある南部曲家でドキュメンタリー映画の上映会を開きたいと思っています。ご寄付は上映素材の料金やPRの費用に充てます。どうぞよろしくお願いします。

私たちは身近な生活の場で健康相談や認知症予防、傾聴活動を行っている団体です。現在お借りしている場所のストーブは小さく、冬は上着を着たままの相談になっています。ご寄付がいただけたら、冬用に大型ストーブを、夏用に扇風機を購入したいと思います。みなさまどうかよろしくお願いします。

Dr. Yoko Kikuchi is a professor at the Graduate School of Science and Technology, Chiba University. She received her Ph.D. from Chiba University in 1998 and has been working as an assistant professor, then an associate professor, and finally a professor. Her research interests are in the synthesis of functional polymers and the development of new materials.

風花は、障がいを持つ人たちを支援する団体です。毎年カモミールを栽培していますが、乾燥作業のためのビニールハウスが古くなってきました。ご寄付がいただけたら、ビニールハウスを改修して作業効率を上げ、利用者の工賃アップにつなげたいと思います。今年も風花をどうかよろしくお願いします。

サロンたぐきりは、傾聴活動を中心として、地域の福祉向上、自殺予防に取り組んできました。事務作業で使うノートパソコンなのですが、高齢の私たちには画面が小さすぎます。最近は一瞬止まったりします！ご寄付があれば、画面が大きいデスクトップパソコンを購入したいです。みなさま、よろしくお願いします。

A circular portrait of an elderly man with white hair, wearing a blue shirt and a dark jacket. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a light, textured surface.

なんぶは、障がいを持つ人が、自立して社会生活を営めるよう支援する団体です。昨年、障がい児の生活能力向上のため、放課後等デイサービス希良里(きらり)を開きました。寄付がいただけたら、希良里内にボルダリング施設を作って、子供たちがたくさん体を動かせるようにしたいです。よろしくお願いします。

北三陸じもっと基金運営委員会

基金の運営は、久慈地域で活動するNPO 法人、地域づくり活動団体、非営利団体、金融機関、地域住民、行政（久慈市・洋野町・野田村・普代村・岩手県）などを委員とした運営委員会を設置し、基金の透明性を確保し、円滑かつ公正な運用をします。

運営委員会では、寄付の募集、広報・プロモーション、情報公開、適切な助成などのための費用として、寄付金の25%を使わせていただきます。どうぞご理解ください。寄付金の使途については基金のHP、成果報告会、各団体の情報発信ツールなどで公開、報告いたします。

寄付金控除について・北三陸じもっと基金への寄付は、寄付金控除の対象となりません。

振込による寄付は、
下記の口座をお願いします。
振込後は氏名・住所などを事務局に
電話かメールでお知らせ願います。

金融機関名	盛岡信用金庫
支 店 名	久慈支店
口座種類	普通
口座番号	2 3 3 2 4 8
口 座 名	北三陸じもっと基金

※共感寄付専用口座

※岩手県内の盛岡信用金庫窓口での
振り込みは手数料無料です

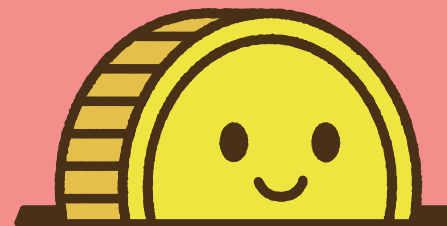
金融機関名	ゆうちょ銀行
口座記号番号	02200-7-120736
口 座 名	北三陸じもっと基金

※ゆうちょ銀行から振込む場合



お問い合わせ・北三陸じもっと基金事務局
（特定非営利活動法人 やませデザイン会議内）
<http://ji-motto.com> mail: info@ji-motto.com
〒028-0051 岩手県久慈市川崎町 13-1
tel:0194-61-3229 fax:0194-61-3230

じもっとに
ポン！



北三陸 じもっと 基金

第8回 共感寄付のご案内

活動を応援してほしい地元の団体が
年1回、約4ヶ月間、寄付をお願いします。
あなたが共感する活動を見つけてください！
1口1,000円から寄付できます。

久慈市・洋野町・野田村・普代村

あなたが共感する
活動を見つけて
応援してください！
一口1,000円から
寄付できます。



寄付の方法

- 1) 所定の振込用紙で振込できます。
振込後に、事務局にメールか電話でお知らせください。
- 2) 期間中はHPからクレジット決済で寄付できます。
- 3) 期間中は事務局または各団体に直接現金をご持参いただくこともできます。

